



JAPAN SOCIETY OF BREAST HEALTH Annual Report

乳房健康研究会 アニュアルレポート 2017 乳がんしやすい社会に向けて ～ピンクリボンアドバイザー【上級】誕生～

CONTENTS

はじめに

2016活動: 乳がんしやすい社会に向けて～ピンクリボンアドバイザー【上級】誕生～

1. コミュニケーション強化と的確な情報提供
2. 関連NPO団体や企業との連携“ピンクリボンネットワーク”

乳房健康研究会のあゆみ2000～2015年

乳房健康研究会を支援するプログラム



はじめに

いま日本女性の11人に一人が乳がんにかかるといわれ、亡くなる方は増え続けています。乳がんは予防することはできませんが、早期発見であれば90%以上が治癒します。早期発見は知識さえあれば可能です。自己検診を行い、精度の高いマンモグラフィ検診などの画像診断が受けられると、より早期発見率は高まります。

2000年春、私たちは乳がん早期発見による死亡数低下を願い、乳房健康研究会を組織しました。セミナー、出版、ピンクリボンバッジ運動、ウオーク&ラン大会など社会性の高い事業活動を行っており、2003年2月、日本の乳がん啓発団体で初めて特定非営利活動法人(NPO法人)の認証を受け、2011年4月には認定NPO法人の認証を受けるに至りました。

乳がんによさしい社会に向けて

2013年に創設したピンクリボンアドバイザー制度も4年目となり、認定者は述べ8000名を超えました。そして2016年はピンクリボンアドバイザー【上級】認定者が47名誕生しました。また認定期間3年を超えた方の【更新】がスタートしました。これらと並行して、WEBセミナーをスタートし、ワークショップキャラバンを3会場で開催。ピンクリボン活動をサポートするプログラムを充実させました。

一方、ピンクリボン団体や企業とのタイアップも広がり、ピンクリボンアドバイザーサテライト試験、企業見学、ピンクリボンでつなぐ絆プロジェクトなどの活動が活発になっております。恒例のピンクリボンウオーク、HPでは検診機関情報のアップデート、東京都や墨田区とった自治体との協働企画も拡大しました。

2017年はピンクリボンアドバイザーアニュアルミーティングを開催いたします。活動情報の共有や人的な交流を通して、乳がんによさしい社会に向けて、ピンクリボン活動の一層の進化・深化に努めて参ります。

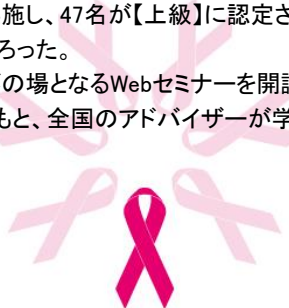
認定特定非営利活動法人 乳房健康研究会

2016活動トピックス

乳がんによさしい社会に向けて ～ピンクリボンアドバイザー【上級】誕生～

乳がん検診や乳がんを取り巻く環境改善のために、教育、指導、社会活動を主導するピンクリボンアドバイザー【上級】。2016年に初の認定審査を実施し、47名が【上級】に認定された。これでピンクリボンアドバイザー【初級】【中級】【上級】3つの級がそろった。

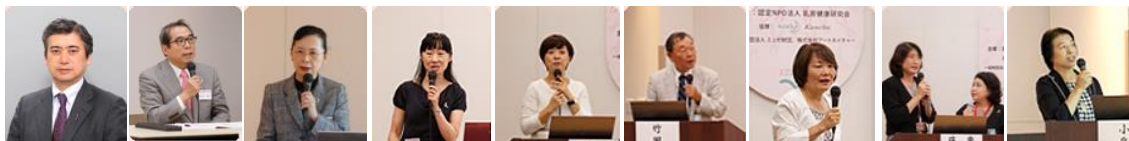
2016年はピンクリボンアドバイザーの学びの場となるWebセミナーを開講するほか、各地でワークショップキャラバンを開催。充実したプログラムのもと、全国のアドバイザーが学びながら活動を行っている。



1. ピンクリボンアドバイザー【上級】誕生



2. Webセミナー開講



3. ワークショップキャラバン開催



4. ピンクリボンアドバイザー活動の活性化

5. 東日本大震災で被災した女性の健康支援 ピンクリボンでつなぐ絆プロジェクト

1. ピンクリボンアドバイザー【上級】誕生

ピンクリボンアドバイザー【上級】認定研修会

乳がん検診や乳がんを取り巻く環境改善のために、教育、指導、社会活動を主導するピンクリボンアドバイザー【上級】。2016年に初の認定審査を実施。必須単位を取得したうえで、上級認定研修会を受講した47名が【上級】に認定された。これで、ピンクリボンアドバイザーの3つの級がそろった。

- 研修会日程 2016年9月18日(日)、19日(月・休)
- 受講者 ピンクリボンアドバイザー中級認定者 47名
- 会場: がん研有明病院(〒135-8550 東京都江東区有明3-8-31)
- 認定研修会・審査料 32,400円(税込)



教育目標

- ①乳房健康研究会におけるピンクリボン運動の理念を理解できる。
- ②乳がん検診の現状と課題について理解できる。
- ③人の行動変容を促す理論を理解できる。
- ④乳がん検診受診を促進あるいは阻害する要因を理解できる。
- ⑤乳がん検診勧奨を促進するプログラムを企画する手立てを修得できる。
- ⑥乳がん検診勧奨を促進するプログラムをグループで1つ企画できる。
- ⑦活動団体・組織の作り方について理解できる。
- ⑧乳がんの診断・治療について概略を理解できる。
- ⑨乳がん患者のサポートのあり方を理解できる。



プログラム

<9月18日(日)>

- ・オリエンテーション 鈴木久美(大阪医科大学教授)
- ・開会挨拶 福田 護(認定NPO法人乳房健康研究会理事長)
- ・「乳房健康研究会におけるピンクリボンの運動理念」福田 護
- ・「乳がん検診の現状と課題について」島田 菜穂子(ピンクリボンプレストケアクリニック表参道院長)
- ・「人の行動変容を促す理論」鈴木久美
- ・「乳がん検診勧奨を促進するプログラム企画立案およびネットワークづくりについて」阿部恭子(千葉大学特命准教授)
- ・「ピンクリボン活動の実践例1」
 - * 行政と医療者との協働によるピンクリボン活動について 酒井裕美(富山県立中央病院師長)
- ・「ピンクリボン活動の実践例2」
 - * 市民団体によるピンクリボン活動について 中津留 由美(まちなかりボンサロン)
- ・グループワーク1
 - * 自己紹介、乳がん検診勧奨を促進するプログラム企画案を作成(阿部・鈴木)

懇親会(有明ワシントンホテル1階 ジョージタウン内個室) * 希望者のみ、4,000円

<9月19日(月・休)>

- ・グループワーク・発表・意見交換(阿部・鈴木)
- ・「活動団体・組織の作り方」戸倉輝彦
- ・「乳がんの診断・治療の概略」津川浩一郎(聖マリアンナ医科大学教授)
- ・「乳がん患者のサポートのあり方について」鈴木久美
- ・修了証授与・閉会の挨拶 福田 護



2. Webセミナー開講

いつでも、どこでも学習できるように、ピンクリボンアドバイザー認定試験公式テキスト『ピンクリボンと乳がん まなびBOOK』の内容に応じた、6科目のWebセミナーを開講。乳がんや検診、治療に関する最新情報、ピンクリボン運動のさまざまな活動事例が学べる。
受講期間内であれば、すべての講座を何度でも繰り返し受講することができる。
2016年4月に9講座を開講、内容は順次追加していく予定。

- 受講料 2,000円+税
- 受講期間 「ユーザID」と「パスワード」の発行日から1年間



Webセミナー内容

①乳がんはなぜできる

<①-A>

遺伝性乳がん

講師：中村 清吾/昭和大学病院プレストセンター長・教授 同遺伝医療センター
時間：34分



②増え続ける乳がん

<②-A>

知っておくべき乳がんのデータと解釈

講師：福田 護/聖マリアンナ医科大学附属研究所ブレスト&イメージング先端医療センター附属クリニック
時間：21分



③大切な乳がん検診

<③-A>

マンモグラフィ検診の現状と超音波検診の可能性

講師：遠藤 登喜子/NPO法人日本乳がん検診精度管理中央機構理事長
時間：30分 *



④乳がんを治す

<④-A>

乳がんの最新治療

講師：土井 卓子/湘南記念病院かまくら乳がんセンター長
時間：30分 *



⑤乳がんと生きる

<⑤-A>

治療に伴う変化と、よりよく過ごすための工夫

講師：金澤 麻衣子/東北大学病院 看護部 乳がん看護認定看護師
時間：37分 *



⑥ピンクリボン運動

<⑥-A>

三重乳がん検診ネットワークによる受診率アップの取り組み

講師：竹田 寛/三重乳がん検診ネットワーク理事長
時間：16分 *



⑥ピンクリボン運動

<⑥-B>

乳がんにやさしい社会に向けての人的ネットワークづくり

講師：岡山 慶子/朝日エルグループ会長
時間：22分 *



⑥ピンクリボン運動

<⑥-C>

Team でんと!～救われるべき人にお届けしたい体験者の声～

講師：栗橋 登志・藤原 緑/乳がん体験者、ピンクリボンアドバイザー
時間：19分 *



⑥ピンクリボン運動

<⑥-D>

ここにあなたの望む乳がん検診があります

講師：小泉 美都枝/川崎市立多摩病院画像診断部
時間：17分 *



* はPINK RIBBON CONFERENCE 2015の講演を編集したものです

ピンクリボンアドバイザー単位取得について

本Webセミナーは、ピンクリボンアドバイザー カリキュラム I 類。【初級】【中級】更新審査/【上級】認定に必要な単位が、1講座につき1単位取得できる。

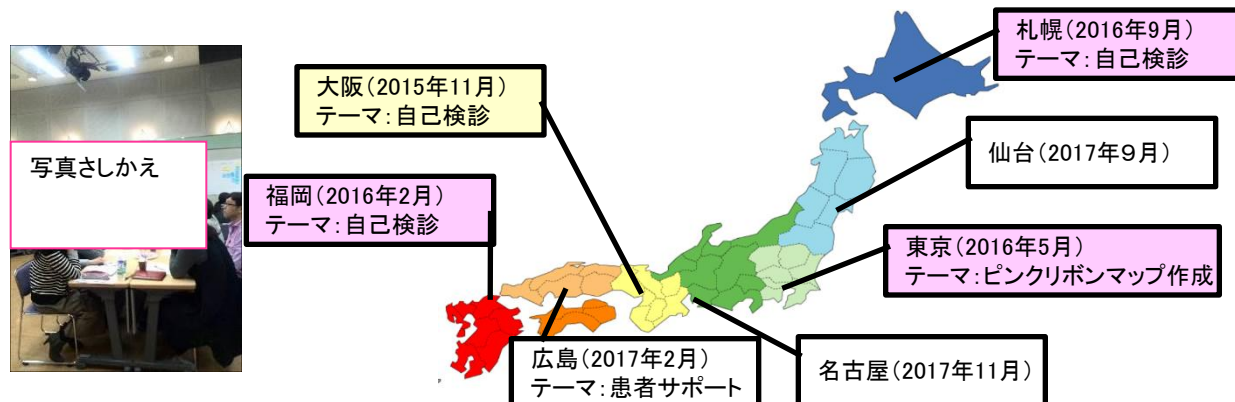
Webセミナー受講後、確認テストに回答し、合格された方には、単位番号をeメールでお知らせ。単位番号の発行により、単位取得となる。

3. ワークショップキャラバン開催

ワークショップキャラバン

15周年記念事業として、2015年にスタートしたピンクリボンアドバイザーワークショップキャラバン。グループワークやロールプレイを通じて、活動に役立つ実践的スキルを習得するもので、中級試験開催地で順次実施。自己検診、ピンクリボンマップ作成、企画書作成、患者サポートなどのメニューから、各地域の要望を考慮して内容を決定する。

2016年は、福岡(2月)、東京(5月)、札幌(9月)で開催した。*2017年予定:広島(2月)、仙台(9月)、名古屋(11月)



ワコール新ビル見学 & ピンクリボン京都スタンプラリー

女性の胸を見守り続けてきたワコールと、街全体での啓発活動を推進するピンクリボン京都の協力のもと、京都で初の企業見学研修会を開催。地元企業と啓発団体の連携、地域の特性を生かした活動を学び、2日目はピンクリボン京都のスタンプラリーに参加。ピンクリボンアドバイザー中心に51名が参加した。

<1日目>ワコール新京都ビル(京都駅)

- ・乳がん術後のプレストケア(山本沙織/京都第一赤十字病院、認定看護師)
- ・ワコールのピンクリボンACT～製品づくりから社会貢献活動まで(株式会社ワコール)
- ・ピンクリボン京都の活動紹介と「スタンプラリー & ウォーク」オリエンテーション(ピンクリボン京都実行委員会 江口ひろみ)

<2日目>

- ・ピンクリボン京都スタンプラリー & ウォーク参加

●日程: 2016年10月7日(金)～8日(土) <2日間>

●共催: 株式会社ワコール、ピンクリボン京都



第3回マンモグラフィ工場見学 & 活動実践研修会

2014年、2015年に引き続き3回目となるピンクリボン研修会を実施。1日目は昨年に引き続き、東洋一の医療機器工場であり、マンモグラフィの国産メーカーである東芝メディカルシステムズの工場見学。そして2日間のワークショップを通して、活動の実践方法を学び、理解を深めた。参加者は、ピンクリボンアドバイザー、また今年度に認定試験を受けようとする方など全国から19名、講師・スタッフ5名の合計25名。

●日程: 6月10日(金)～11日(土) <1泊2日>

●協力: (株)東芝、東芝メディカルシステムズ(株)



4. ピンクリボンアドバイザー活動の活性化

第5回認定試験により、ピンクリボンアドバイザーは約8,000名超

2016年12月に第5回試験を実施。【初級】は、申し込み1,807名、合格者1,587名、【中級】は申し込み405名、合格者299名。

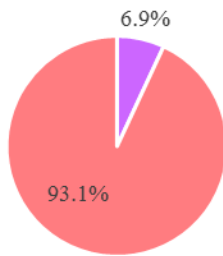
2016年は上記のほかにサテライト試験【初級】を企業2社、NPO法人ピンクリボン大阪で行う。

2017年1月現在のピンクリボンアドバイザーは8,016名となった。

2013年の第1回試験に合格した【初級】は3年経過し、更新時期を迎えた。約300名が更新/認定延長した。

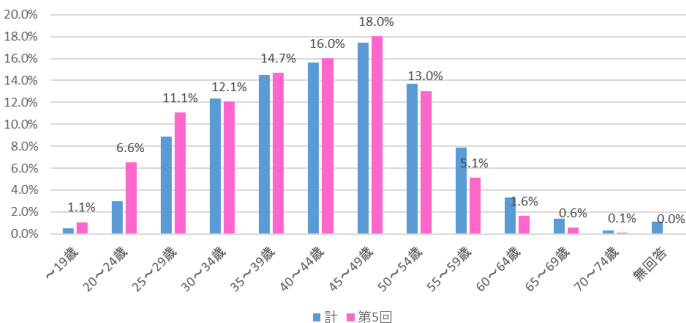
【第5回 初級合格者データ】

■男女比：女性が9割以上を占める

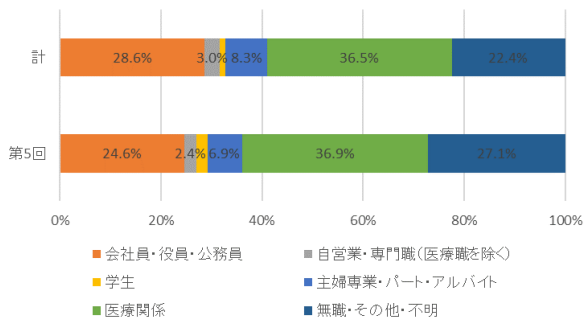


■ 男性 ■ 女性

■年齢：平均年齢40.2歳

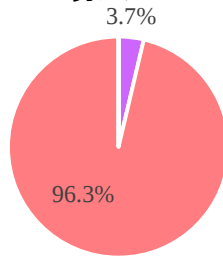


■職業：医療関係者が多い。



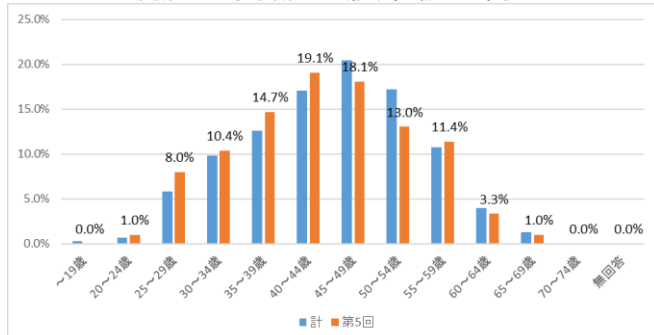
【第5回 中級合格者データ】

■男女比

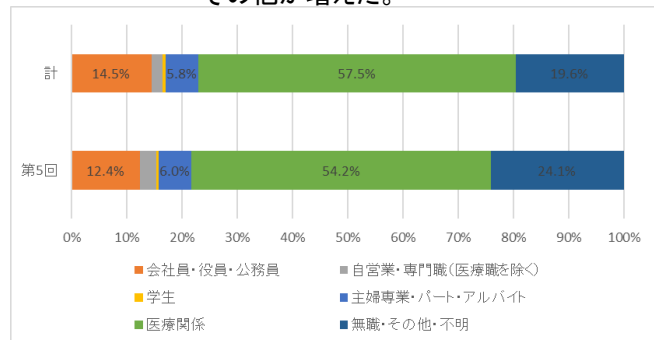


■ 男性 ■ 女性

■年齢：平均年齢43.6歳、初級より高め



■職業：前回に比べ医療関係の割合が減り、その他が増えた。



■3か所でサテライト試験開催

2016年は上記のほかにサテライト試験【初級】を企業2社、NPO法人ピンクリボン大阪で行う。

5. 東日本大震災で被災した女性の健康支援 ピンクリボンでつなぐ絆プロジェクト

2011年、未曾有の大災害となった東日本大震災で被災された女性たちがさらに乳がんで悲しまないために、乳がん検診受診を支援するプロジェクトを展開。被災地のことを忘れないため、また被災地の女性たちの健康を思いやることを通して自身の健康を大切にしてほしいという願いを込めて継続してきた。

2016年は宮城県仙台市で実施した。増え続ける乳がんについての講演、心地よい眠りのためのリラックス法の紹介、各種体験コーナーなど盛りだくさんの内容。ゲストは麻木久仁子さん。麻木さんが姿を現すと、会場は大きな拍手に包まれた。ご自身の乳がん体験談をもとに、発見に至った経緯やその後の治療について語った。

■名 称： ピンクリボンでつなぐ絆プロジェクト2016
東北の女性の“元気”と“キレイ”を応援
ピンクリボンプラザ in 仙台

■開催日時： 2016年9月25日（日）
13:30～16:30（13:00開場）

■実施会場： イベントホール松栄（仙台駅東口徒歩3分）
仙台市宮城野区榴岡1丁目2番8号 松栄不動産本社ビル6F

■主 催： 認定NPO法人乳房健康研究会

■特別協賛： 花王グループ

■後 援： 宮城県、仙台市、公益財団法人宮城県対がん協会、河北新報社

■協 力： 患者会りんりんの会、マンマの会パセリ、いわてピンクリボンの会、ピンクリボンin郡山、
一般社団法人日本エステティック協会、公益社団法人日本フィットネス協会、株式会社 仙台三越

■企画・制作： 株式会社朝日エル

■定 員： 200名（40～60代女性中心）〈申込み定員制〉

■参 加 費： 無料



自己管理の重要性をテーマに乳がん情報を発信

日本で初めてブレストケアウォーク&ランを開催した乳房健康研究会。医療従事者と一般女性のコミュニケーション強化を図ることにより、正しい情報を伝達することを目的として、多岐にわたるイベントを開催・協力している。ホームページでは、乳がんの的確な情報を提供。さまざまな媒体からの情報提供の依頼や取材が増えており、乳房健康研究会の情報が信頼されていることがうかがえる。各種啓発ツールも多方面で活用されている。

第15回ミニウォーク&ラン フォー ブレストケア ピンクリボンウォーク2016

■日時: 2016年3月27日(日) 9:00~14:00

■場所: 日比谷公園

乳がんについて考えるきっかけになってほしい…。そんな思いからスタートした「ピンクリボンウォーク」。今年も、運営に関わる様々な場面でピンクリボンアドバイザーが多数参加した。

当日は、朝のうちは曇りで肌寒かったものの、だんだんと晴れ間が見られるように。ウォーキングに出かける前には、仲里由美さん(リヴィッド)、池田美知子さん(日本フィットネス協会)の指導のもと、準備体操。『ピンクリボン体操第1』を全員で踊り、小さいお子様から年配の方まで笑顔で楽しみながら体を動かしている姿がとても印象的であった。



ウォークのコースは、銀座や変身した有楽町をめぐる2km、皇居をぐるりと回る5km、皇居外苑から千代田区をめぐるロングな10kmの3つ。ピンクのアイテムを身に着けて、咲き始めた桜や皇居の風景を楽しみながら歩く姿が多く見られた。今回は新たに5kmファンランコースも加わった。若いランナーの姿も多く、アクティブでパワーあふれる大会となった。



ステージでは、ミニライブやトークで会場を盛り上げた。マンモグラフィ検診解説コーナーでは、デモカーからの中継を交えながら検診の方法を説明。ブレストケアトークでは、ゲストにタレントで乳がん体験者の生稲晃子さんを迎え、5年にわたる手術、再発、再手術、再建の体験談や家族との関係、仕事を続ける苦労などをお話しいただいた。会場の皆さんに笑顔や勇気を与える素晴らしいトークショーとなった。

ブースでは魅力的な製品や情報に触れたり、ピンクリボン活動について学ぶこともできた。ピンクリボンカフェや試飲ブースは、行列ができるほどの盛況だった。

また、今年もたくさんのボランティアの方が集まり、前日のお土産アッセンブリ作業、ウォークカードの紐通しにも協力いただいた。多くの方のサポートにより笑顔あふれる温かい大会となった。



信頼される乳がん情報、充実した啓発ツール

乳がんの的確情報の提供とともに、今年取り組んださまざまな活動を紹介しているホームページ。設備のととのった検査施設などの情報を更新した。



【さまざまな啓発ツール】

乳がんの啓発ツールやチャリティグッズ(書籍、パンフレット、シャワーカード、DVD、切手、ピンクリボンバッジなど)を作成しホームページで販売しており、各方面で活用されている。最近、さまざまな企業がオリジナルのピンクリボン啓発ツール制作をおこなっている。

雑誌、新聞、テレビ、インターネットなどのさまざまな媒体からの情報提供の依頼や取材が増えており、乳房健康研究会の情報が信頼されていることがうかがえる。

■啓発リーフレット



■書籍



■シャワーカード



学会・研究会へ出展し、ツールを紹介

専門家に乳がん早期発見の大切さを伝えることにより、それぞれの専門家に乳がん啓発活動の一端を担ってもらうため、学会・研究会や各地の市民公開講座等へ出展。講師の派遣、乳がん啓発ブースの設置、啓発ツール紹介、チャリティグッズの販売をおこなう。

出展	会期	会場
日本乳癌学会	6月16日～18日	東京ビッグサイト
日本乳癌検診学会	11月4日～5日	久留米シティプラザ



ピンクリボンの裾野を広げる

正しい乳がん情報を広く普及するために乳がん啓発活動に関わるNPOや各種団体、企業との連携事業を展開。

各地のピンクリボン活動をサポート

全国各地のピンクリボンイベントに協力し、イベント共催、講師の派遣、ブース出展、啓発パネル貸し出しなどを精力的に行う。

時期	イベント	時期	イベント
1月	トッパングループ健康保険組合 朝霞診療所		ピンクリボン in 郡山
4月	桑名西医療センター つくばピンクリボンフェスティバル2015 / NPO法人つくばピンクリボンの会		ピンクリボンフェスティバル(東京、神戸、仙台) 各地のスマイルワーク・シンポジウム/日本対がん協会他 ピンクリボン全国大会&東山参道周辺スタンプラリー(京都) ピンクリボンin東京
5月	埼玉西武ライオンズ HAPPY MOTHERS DAY 大丸松坂屋 母の日キャンペーン ピンクリボン de カープ / プレストケア ピンクリボン キャンペーンin広島実行委員会	10月	レントゲン週間「放射線展」(茨城県診療放射線技師会) 女性クリニックWe富山 プレストケア 新松戸中央総合病院 医療連携室 ココカラプロジェクト実行委員会 新潟県厚生連 佐渡総合病院外科外来
6月	米子ピンクリボンフェスタ2016 日本キリスト教団 聖ヶ丘教会		女性のためのヨガ同好会 アメリカンフットボール協会 昭和大学横浜市北部病院外科
7月	JA愛知厚生連豊田厚生病院		ピンクリボン in 戸田 映画 マイ・ベストフレンド 港区立男女平等参画センター(リーブラ)
8月	医療生協 わたり病院臨床検査科	11月	四谷保健センター ピンクリボンひたち 関西電力病院 NIPPON女性からだ会議
9月	墨田区がんパネル展 株式会社日立サンロッカーズ(日立サンロッカーズ東京・渋谷) チアフル・ママ 一般社団法人 日本社会人アメリカンフットボール協会 有限会社スタイルバイク Company de Con¥mpany		



乳がんになった親友に寄り添う映画マイ・ベストフレンドを後援。広報担当者によるトークイベントやピンクリボンアドバイザー限定試写会を開催した。



東京都主催の「ピンクリボン in 東京」ではドクタートークを担当。ピンクリボンアドバイザーもボランティアとして参加。

企業とのタイアップ

協賛や直接的な寄付に加えて、広報・販売促進活動の中で社会貢献活動を行う「コース・リレйтиッド・マーケティング」による支援も増加している。乳房健康研究会は主としてコンテンツを提供。企業の告知力・コミュニケーション力により、正しい乳がん情報が広く普及していく。

企業	内容
アスクル	オリジナル紙コップの売り上げの一部を寄付
川辺	ママバッグの売り上げの一部を寄付
花王グループ	店頭での啓発活動。浴室に貼る自己検診のやり方シートを開発
カネボウ化粧品	インプレスIC ソフニングオイルの売り上げの一部を寄付
きむら食品	絆つきもちの売り上げの一部を寄付
クロスカンパニー	ギフトショップMaison de FLEURの対象商品の売り上げの一部を寄付
佐藤食品工業	饅頭、切り餅の売り上げの一部を寄付
シグマスタッフ	派遣社員へ乳がん啓発。登録人数に応じて寄付
ジャパンビバレッジ	自動販売機の売り上げの一部を寄付
スリーエムヘルスケア	聴診器等の売上の一部を寄付
3M	アマゾンでの日用品の売り上げの一部を寄付
ソラーレ ホテルズ アンド リゾート	グループホテルの宿泊費の一部を寄附
東京コカ・コーラボトリング	自動販売機の売り上げの一部を寄付
日本ホールマーク	母の日カードの売り上げの一部を寄付
鳴海製陶	フェリシータシリーズの売り上げの一部を寄付
ナショナルペンディング	自動販売機の売り上げの一部を寄付
ヌーヴ・エイ	店頭での募金による寄付
三越伊勢丹	ピンクリボンバッジ運動による寄付
ユナイテッドアローズ	対象商品やオリジナルピンクリボングッズの売り上げ一部、リサイクルキャンペーンによる売却費を寄付
ワコール	ネット上のピンクリボン検定

ほか多数



乳房健康研究会のあゆみ

2000年

- 5月 乳房健康研究会発足
- 9月 第1回セミナー「もっと乳がんを知ろう」開催(東京・プラザエフ)

■乳房健康研究会設立メンバー

2000年春、日本女性の乳がんによる死亡数低下を願い、4人の医師が集まり発足した。



野末悦子
コスモス女性クリニック
院長



轟 富士雄
順天堂大学医学部
附属順天堂医院
乳腺センター長



福田 護
聖マリアンナ医科大学
プレスト&イメージング
センター院長



島田葉穂子
ピンクリボンプレスト
ケアクリニック表参道
院長

2001年

- 3月 『20歳を過ぎたらプレストケア』出版 プレスセミナー開催(東京)
- 7月 乳癌最新情報カンファランス会場にてピンクリボンバッジ運動スタート
- 9月 第2回セミナー「乳がん早期発見のための取り組み～女性医療と乳がん～」開催(東京・プラザエフ)
- 全国各地でピンクリボンバッジ運動を出展

■ピンクリボンバッジ運動

アメリカで乳がん啓発のシンボルマークとして広く知られているピンクリボン。このバッジを多くの方々につけていただくことで、乳がんの早期発見をよびかけている。



■出版、啓発ツール制作

『20歳を過ぎたらプレストケア』を出版以降、マンモグラフィの特徴や撮影方法などをわかりやすくまとめた「マンモグラフィQ&A」、乳がんの基礎知識をまとめた「乳がんQ&A」などの啓発ツールを制作し、さまざまなルートで活用していただいている。



2002年

- 3月 第1回ミニウオーク&ラン フォー プレストケア開催(東京・国営昭和記念公園)
- 9月 第1回ウオーク フォー プレストケア開催(東京・お台場)
- 9月 「マンモグラフィQ&A」制作
- 12月 東京ミレナリオ沿道にて「ピンクリボンプラザ」開設
- 10月～翌年1月 乳がん検診のバリア調査(一般女性)
- 11月 乳がん検診のバリア調査(全国自治体)
- 全国各地でピンクリボンバッジ運動を出展

■ウオーク&ランの開催

一般女性、乳がん経験者、男性も子どもも参加できるウオークやラン。アメリカで広くおこなわれているこのような乳がんイベントを日本で初めて開催した。サブイベントとしてマンモグラフィ検診や乳房健康相談、プレストケアトークなどをおこない、楽しい中にも乳がんの正しい知識を持ていただけるような内容で、医療従事者と一般女性のコミュニケーションを深めている。



2003年

- 2月 内閣府より特定非営利活動法人(NPO法人)認証
- 3月 第2回ミニウオーク&ラン フォー プレストケア 開催(東京・国営昭和記念公園)
- 4月 第3回セミナー「なぜ検診に行かないの？乳がん検診のバリアをなくそう」開催(東京・ヤマハホール)
- 5月 ウォークフォー プレストケア 2003 大阪 開催(大阪・大阪城公園)
- 8月 「乳がんQ&A」制作
- 9月 ピンクリボンウォーク2003開催(東京・代々木公園)
- 10月 朝日新聞社主催「ピンクリボンフェスティバル」(東京・六本木ヒルズ)への支援
- 11月 第13回日本乳癌検診学会(群馬)にて乳がんのバリア調査報告ならびにピンクリボン運動出展
- 11月 米国の乳がん啓発団体「スーザン・G・コーメン・プレストキャンサー・ファンデーション」とタイアップしてプレスセミナーを開催
- 全国各地でピンクリボンバッジ運動を出展

■乳がん検診のバリア調査

乳がんの基礎的な資料整備のため、企業、行政、団体のご協力をいただきながら、乳がんに関する調査の設計、実施、データの公表をおこなっている。2002～3年には、乳がん検診受診率がなぜ低いのかを探る「乳がん検診のバリア調査」を実施。全国3,247自治体と一般女性(東京、愛媛)への調査をおこない、自治体の乳がん検診の考え方や実態や女性たちの検診意識を明確化した。この調査はたびたびメディアでも取り上げられている。



2004年

- 2月 『すべての女性にプレストケア』出版
- 3月 第3回ミニウオーク&ラン フォー プレストケア 開催(東京都・国営昭和記念公園)
- 8月 三重県乳がんプロジェクトの一環の県民公開講座を支援
- 9月 マンモグラフィ講習会を開催(東京)
- 10月 関西国際空港10周年記念ピンクリボンウオーク関空2004 開催(大阪・関西国際空港)
- 10月 「チャートでチェック!乳がん検診 私はどこに行ったらいいの?」
「プレストケアと乳がん検診についてお話ししましょう」作成
- 全国各地でピンクリボンバッジ運動を出展

■信頼できる乳がん検診情報の提供
活動開始から5年目、NPO法人化2年目の2004年はさらに戦略的な活動を本格化。「信頼できる乳がん検診情報の提供」をテーマに、乳がん検診受診率アップのためのさまざまな活動を展開した。制作物では「すべての女性にプレストケア」を出版ほか、検診施設の選び方のチェックチャートを作成しホームページでも紹介。



ピンクリボンウオーク関空で
日本初!ピンクリボン人文字



乳がん検診が初めての人への
ナビゲーションとなる1冊

2005年

- 1月 マンモグラフィ講習会を開催(三重、久留米)
- 3月 第4回ミニウオーク&ラン フォー プレストケア 開催(東京都・国営昭和記念公園)
- 6~7月「乳がん検診は今」調査実施(一般女性、都道府県、自治体、健保組合対象)
- 8月、9月 三重県乳がんプロジェクトの一環の市民公開講座(四日市)を共催
- 9月 プレスセミナーを開催、「乳がん検診は今」調査結果発表(東京)
- 11月 日本乳癌検診学会(京都)にて「乳がん検診は今」調査結果発表
- 11月 市民公開講座(京都)にて「乳がん検診は今」調査結果発表
- 12月 マンモグラフィ講習会を開催(東京)
- 全国各地でピンクリボンバッジ運動を出展

■「乳がん検診は今」調査
2002~3年の「乳がん検診のバリア調査」の時点から、わが国の乳がん検診をとりまく状況は大きく様変わりした。今日の状況と課題を把握する目的で「乳がん検診は今」プロジェクトを立ち上げ、日本の乳がん検診を網羅する4つの調査を実施した。



2006年

- 3月 第5回ミニウオーク&ラン フォー プレストケア 開催(東京・潮風公園)
- 4月 ITEM(医学放射線学会・放射線技術学会)市民公開講座(横浜)支援
- 5・6月 マンモグラフィ講習会を開催(鹿児島)
- 6~11月ノバルティス乳がん検診キャラバン(北海道・宮城・東京・愛知・大阪・福岡)
- 9月・11月・翌年1月 乳がん検診受診率向上実践セミナー開催(東京)
- 10月 ピンクリボンハッピーチャレンジ「ランチセミナー」(センチュリーハイアット東京)
- 10月 順天堂乳腺センター市民公開講座 支援
- 11月 ピンクリボンハッピーチャレンジ「文化放送ミスDJリクエストパレード」
- 全国各地でピンクリボンバッジ運動を出展

■乳がん検診をもっと身近なものに
2005年調査を受けて、乳がん検診をもっと身近に感じてもらうための活動に新たに取り組んだ。



ノバルティス乳がん検診
キャラバン



ピンクリボン
ハッピーチャレンジ



乳がん検診受診率向上
実践セミナー

2007年

- 2月 日本乳癌画像研究会(東京)に出展
- 3月 順天堂乳腺センター市民公開講座(東京) 支援
- 6~11月ノバルティス乳がん検診キャラバン(熊本・愛媛・岡山・北海道・山形・茨城・東京)
- 9月 プレスセミナーを開催、「一般女性意識行動調査」結果発表(東京)
- 11月 乳がん検診受診率向上実践セミナー開催(大阪)
- 全国各地でピンクリボンバッジ運動を出展

■乳がん検診受診率50%に向けて<一般女性意識行動調査>
2007年は、同年6月にがん対策基本計画に「乳がん検診受診率50%」との目標が盛り込まれたことを受け、NPO法人として実現に向けての活動の方向を探るための3度目の調査を実施し



2008年

- 1月 マンモグラフィ講習会を開催(鹿児島)
- 3月 第7回ミニウオーク&ラン フォー プレストケア 開催(東京・日比谷公園)
- 4~11月 ノバルティス乳がん検診キャラバン(長崎、広島、高知、山梨、岩手、北海道、千葉)
- 5月 hideメモリアルサミット
- 9~11月 Over the ピンクリボン企画
- 10月 ピンクリボンブラザ@表参道ヒルズ、ピンクリボンブラザ@四日市
- 10月 「Breast Cancer Global Congress」に参加
- 全国各地でピンクリボンバッジ運動を出展

■「ピンクリボンブラザ」開催

検診受診率アップの為に、女性の日常生活に密着した場所での啓発が大切と考え、東京・表参道ヒルズ、三重・四日市北イオンショッピングセンターで「ピンクリボンブラザ」を開催。乳がんに関する正しい知識や、一人一人に合った情報を紹介し、乳がん検診・診療への行動を促した。また、乳がん検診や診療について気軽に相談でき、生涯にわたり健康のサポート役となる乳房の主治医「ピンクリボンドクター」を見つけるヒントを提供した。



2009年

- 3月 第8回ミニウオーク&ラン フォー プレストケア 開催(東京・日比谷公園)
- 4~10月 ノバルティス乳がん検診キャラバン(福岡、山口、奈良、三重、神奈川、香川、大阪、青森、秋田)
- 10月 ピンクリボンブラザ@新宿を開催
- 10月 マンモグラフィ講習会を開催(東京)
- 11月 日本乳癌検診学会(東京)で調査結果発表
- 11月 プレスセミナーを開催
- 全国各地でピンクリボンバッジ運動を出展

■「ピンクリボンブラザ@新宿」開催

検診に行きたいと思っている女性の疑問や不安を解消し、すぐに具体的に役立つ情報の提供を行うことを目的に、乳がん検診について知りたい内容をコンパクトに整理して提供した。

セミナーでは、乳がん検診の基礎についての講演と自己検診の方法とマンモグラフィの撮影方法のデモンストレーションに続き、中井美穂さんをゲストに迎えてパネルディスカッションを行った。

セミナーの様子は、新宿駅前の「アルタビジョン」でも放映された。



2010年

- 3月 第9回ミニウオーク&ラン フォー プレストケア 開催(東京・日比谷公園)
- 5月 ノバルティス乳がん検診キャラバン(大手町、新宿)
- 5月 マンモグラフィ講習会を開催(福岡)
- 5月 日本超音波検査学会(大阪)に出展
- 6月 日本乳癌学会(札幌)に出展
- 9月 PINK RIBBON GLOBAL CONFERENCE 2010 開催
- 9月 マンモグラフィ講習会を開催(熊本)
- 11月 日本乳癌検診学会(福岡)に出展
- 全国各地でピンクリボンバッジ運動を出展

■PINK RIBBON GLOBAL CONFERENCE 2010

設立10周年を記念して、東京で日本初のピンクリボンカンファレンス開催した。米国、韓国をはじめ国内外から最先端の講師を招き、全国から集まった32のピンクリボン団体、延べ500人近い参加者とともに活発な議論が交わされた。



2011年

- 4月 すみだピンクリボン コミュニティキャンペーン (東京・墨田区)スタート
- 5月 認定NPO法人の認可を受ける
- 9月 日本乳癌学会(仙台)出展
- 9月 プレスセミナーを開催、「一般女性意識行動調査」結果発表(東京)
- 10月 ピンクリボンウオーク in すみだ(東京・錦糸公園)
- 10月 日本乳癌検診学会(岡山)出展
- 11月 ピンクリボンでつなぐ絆プロジェクト in 南三陸(宮城)開催
- 11月 鹿児島撮影技師更新講習会、鹿児島読影更新講習会を開催
- 全国各地でピンクリボンバッジ運動を出展

■すみだピンクリボン コミュニティキャンペーン

ピンクリボン運動を継続・高めるための新しいスタートとなる2011年は、乳がん検診の受診率を上げるとする課題に向かって、行政、医療機関、各種団体、地域企業、地域メディアとともに協働する体制づくりに取り組む。



2012年

- 1月～ すみだピンクリボン コミュニティキャンペーン（東京・墨田区、前年より継続）
- 3月 第11回ミニウオーク&ラン フォー プレストケア 開催（東京・日比谷公園）
- 6月 日本乳癌学会（熊本）出展
- 9月 ピンクリボン運動自治体担当者会議
- 9月 ピンクリボンウオーク in すみだ（東京・錦糸公園）
- 11月 日本乳癌検診学会（沖縄）出展、すみだの事例を発表
- 11月 ピンクリボンカフェ in 郡山
- 6～7月 ピンクリボンでつなぐ絆プロジェクト in 南三陸 乳がん検診助成
- 全国各地でピンクリボンバッジ運動を出展

■すみだピンクリボン コミュニティキャンペーン
行政、医療機関、各種団体、地域企業、地域メディアとともに協働する取り組み[ピンクリボン エリアキャンペーン]を2012年も継続展開。乳がん検診受診率向上の成功モデルを完成させるとともに、墨田区のメニューと成功事例を全国に広める活動にも取り組んだ。



2013年

- 3月 第12回ミニウオーク&ラン フォー プレストケア 開催（東京・日比谷公園）
- 6月 日本乳癌学会（浜松）
- 8月 日本看護管理学会（東京）
- 9月 日本糖尿病教育・看護学会（横浜）
- 9月 プレスセミナーを開催
- 11月 ピンクリボンブラザ in 岩手 ～東北の女性の元氣とキレイを応援～
- 11月 日本乳癌検診学会（東京）
- 11月 医療の質安全学会（東京）
- 12月 第1回ピンクリボンアドバイザー認定試験
- 全国各地でピンクリボンバッジ運動を出展

■ピンクリボンアドバイザー制度スタート
検診を広げ、乳がんにやさしい社会を目指す「人」をたくさんつくることを目的に、2013年、「ピンクリボンアドバイザー制度」を創設。人と人のつながりを大切にしなが乳がん検診を推進する「友だちアクション」により乳がん検診啓発の輪を広げていく活動をスタートさせた。



2014年

- 3月 第13回ミニウオーク&ラン フォー プレストケア 開催（東京・日比谷公園）
- 7月 第2回ピンクリボンアドバイザー認定試験
- 7月 日本乳癌学会（大阪）
- 8月 マンモグラフィ工場見学 那須・鬼怒川研修会
- 9月 日本看護学会一看護教育一学術集会（新潟）
- 9月 日本糖尿病教育・看護学会（長良川国際会議場、他）
- 10月 日本看護学会 在宅看護（山形テレサ）
- 10月 日本看護学会 精神看護（キッセイ文化ホール）
- 10月 日本看護学会 急性期（パシフィコ横浜）
- 11月 日本乳癌検診学会（ベイシア文化ホール）
- 12月 第3回ピンクリボンアドバイザー認定試験
- 全国各地でピンクリボンバッジ運動を出展

■ピンクリボン友だちアクション

2013年12月の第1回認定試験を受けて、2014年2月に初のピンクリボンアドバイザー2,069名が誕生し、各地で活動をスタート。また、楽しく歌って踊りながら「自己検診」を啓発する、新しい参加型のツール『ピンクリボン体操 第1』を開発。人と人のつながりを大切にしなが乳がん検診を推進する「友だちアクション」により、乳がん検診啓発の輪が広がっている。



2015年

- 2月 ピンクリボンアドバイザー専用サイトをリニューアル
- 4月 第14回ミニウオーク&ラン フォー プレストケア 開催（東京・日比谷公園）
- 6月 第2回マンモグラフィ工場見学&活動実践研修会
- 6月 一般女性意識行動調査
- 7月 日本乳癌学会（東京国際フォーラム）
- 9月 PINK RIBBON CONFERENCE 2015
- 10月 ピンクリボンセミナー in Mie
- 10月 日本乳癌検診学会（つくば国際会議場）
- 11月 第1回ワークショップキャラバン（大阪）
- 12月 第4回ピンクリボンアドバイザー認定試験
- 全国各地でピンクリボンバッジ運動を出展

■乳がん罹患者10万人時代に向けて
毎年、新たに10万人に乳がんが見つかる時代を迎え、私たち一人ひとりは何をすべきか。乳房健康研究会設立15年目となる2015年は、「PINK RIBBON CONFERENCE 2015」を開催。多面的な視点から2020年に向けてやるべきことを考えた。ピンクリボンアドバイザーは、地域のピンクリボン活動のリーダーとして精力的に活躍している。



認定NPO法人乳房健康研究会 理事一覧

■理事長



福田 護
聖マリアンナ医科大学
プレスト&イメージング
センター院長

■副理事長



野末 悦子
久地診療所医師



島田 菜穂子
ピンクリボンプレストケ
アクリニック表参道
院長

■理事



阿部 恭子
千葉大学大学院看護
学研究科付属
看護実践研究指導セ
ンター特任准教授



遠藤 登喜子
東名古屋病院
乳腺科診療医長



大和多 まや
聖マリアンナ医科大学
プレスト&イメージング
センター



岡山 慶子
朝日エルグループ会長

■理事



小泉 美都枝
聖マリアンナ医科大学
川崎市立多摩病院画
像診断部
技術課長補佐



小林 茂樹
藤田保健衛生大学
医療科学部 教授



嶋森 好子
岩手医科大学
看護学部長



鈴木 久美
大阪医科大学
看護学部教授

■理事



津川 浩一郎
聖マリアンナ医科大学
外科学
乳腺・内分泌外科教授



土井 卓子
湘南記念病院かまくら
乳がんセンター
乳がんセンター長



中村 清吾
昭和大学医学部
乳腺外科部門
主任教授



西川 徹
昭和大学横浜市
北部病院 外科講師

■理事



畠山 雅行
労働衛生コンサルタン
トオフィス畠山



山内 英子
聖路加国際病院
乳腺外科部長・
プレストセンター長



高木 富美子
認定NPO法人
乳房健康研究会
事務局

■監事

中原 敬和

乳房健康研究会を支援するプログラム

乳がん検診を受ける、早期発見の大切さを伝える。ピンクリボン運動に企業・団体や個人が気軽に参加していただくために、受診率向上を目的としたさまざまな活動へのサポートプログラムを提案。主なプログラム5種類について、特徴や具体的な支援方法をまとめた。

ピンクリボン サポート プログラム

■ピンクリボンプレストケア募金

当会の年間を通じた活動全般を支援

○支援方法：寄付金や募金箱・チャリティーオークションなどでの募金を寄付。

■ピンクリボンバッジによる寄付 <ピンクリボンバッジ運動>

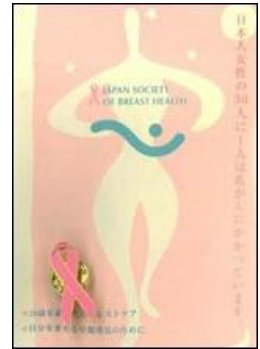
ピンクリボンバッジによる早期発見啓発活動とピンクリボン運動への寄付を一体化

○支援方法：500円以上の寄付につき、1つのピンクリボンバッジセットを贈呈。

■協賛

調査、イベントなど大規模な主催事業に対する協賛

○支援方法：協力企業・団体へのお願い事項を確認のうえ、事務局にお問合せください。
事務局が企画内容と協賛メニューを提案。



■ピンクリボンパートナー

当会とともにピンクリボン運動による社会貢献を始めたい企業・団体が気軽に利用できる、1年更新のプログラム。

ピンクリボンパートナーとして登録いただくと、ピンクリボンマークやロゴマーク、啓発ツールなどをご提供。

【寄付額】年間20万円以上の寄付、または35万円以上のピンクリボンバッジによる寄付

○支援方法：協力企業・団体へのお願い事項を確認のうえ、ピンクリボンパートナー申込書を提出ください。

■タイアップ

企業・団体がピンクリボン運動による社会貢献を実現するためのタイアップ企画。企画段階からのオリジナルプログラム開発や企業・団体の提案企画の実施など。

【タイアップ例】

- ①啓発キャンペーン 女性顧客啓発のためのオリジナルツールの作成、当会啓発ツールの活用
- ②商品販売キャンペーン ピンクリボン運動への協力を表示した商品の販売、売上金の一部を寄付
- ③応募キャンペーン 懸賞応募はがきなどの枚数に応じた寄付
- ④ポイント提供 顧客にポイントを加算、顧客がポイントを利用して当会に寄付
- ⑤イベント開催 チャリティイベント開催による寄付
- ⑥クリックキャンペーン HP上に乳がん啓発ページを作成し、クリック数に応じて寄付

○支援方法：協力企業・団体へのお願い事項を確認のうえ、事務局までお問合せください。

2016年 主な協賛・寄付・啓発ツール活用法人および団体(50音順)

AIG富士生命保険株式会社	株式会社カネホウ化粧品
Atelier Luxury Rose	株式会社キュー
Be魔女ゴルフ会	株式会社クォレ
C'S RACQUET CLUB	株式会社コヤマドライビングスクール
JR北海道ホテルズ株式会社	株式会社シグマスタッフ
Maison de FLEUR	株式会社ジャパンビバレッジホールディングス
TAD三芳株式会社	株式会社シャルレ
アインズ株式会社	株式会社ドリーム
アジレント・テクノロジー株式会社	株式会社ヌーヴ・エイ
アスクル株式会社	株式会社ハーマン
アメリカンファミリー生命保険会社 ウォーク協賛金	株式会社ハイメディック
一般財団法人神奈川県労働衛生福祉協会	株式会社ブリシラ
ウエルネス・コミュニケーション株式会社	株式会社ミゼプラチナム
オートハックス健康保険組合	株式会社メディコン
株式会社リベルタ	株式会社ユナイテッドアローズ
株式会社ルック	株式会社レオハリス・リーシング
キャンホン株式会社	株式会社ワコールホールディングス
キリンビバレッジ株式会社	株式会社ワットマン
ココライーストジャパン株式会社	株式会社三越伊勢丹
さいたま市西区保健センター	株式会社社会保険出版社
サノフィ株式会社	株式会社新潟三越伊勢丹
サライ株式会社	株式会社静岡伊勢丹
シーメンスヘルスケア株式会社	株式会社仙台三越
ジェクス株式会社	株式会社千趣会
ジャパンコミュニケーションズインスティテュート	株式会社大丸松坂屋百貨店
スリーエムジャパン株式会社	株式会社大京
ソラレホテルズ&リゾート株式会社	株式会社中北製作所
効ナン乳業株式会社	株式会社桃谷順天館
東京都	株式会社日本ホールマーク
ナチュラル株式会社	株式会社良品計画
日本郵便 東京支社	共栄火災海上保険株式会社
ネスレ日本株式会社	佐藤食品工場株式会社
ハーマン株式会社	阪南マンガグラフィ勉強会
日立製作所 SSBフェスティバルピンクリボンブース	三田市役所
ピンクリボンフレステアクリニック表参道	女性のためのヨガ同好会
ピンクリボン花見 by gossip	千歳市健康指導課
ブリモジャパン株式会社	川辺株式会社
まつもとクリニック	創作ジュエリーブック
モトライン・ジャパン合同会社	大京株式会社
有限会社スタイルハイ	筑波大学付属病院 放射線部
有限会社花花	中外製薬株式会社
リコーリース株式会社	中山レディースクリニック
医療法人健人会 益子病院	中部ガス不動産株式会社
医療法人社団生光会	中野区健康福祉部
一般社団法人日本エステティック協会	東芝メディカルシステムズ株式会社
一般社団法人日本ジュエリー協会	日鉄住金ビジネスサービス八幡株式会社
一般社団法人日本家族計画協会	日本健康倶楽部
宇治武田病院	日本郵船株式会社
花王株式会社	富士フィルムメディカル株式会社
株式会社LEOC	墨田区
株式会社SHIMA	鳴海製陶株式会社
株式会社アートネイチャー	

他、多数